

○第二部最優秀賞 青森県知事賞

やっぱりご飯が大好き

橋本小学校（青森市）

六年 太田 亜矢乃（おおた・あやの）

「私は日本で納豆巻きを百本食べることが目標です。」
このように言ったのは悠子さん。一学期にアメリカのラスベガスから体験入学にやってきた女の子です。

私はその時、去年の社会の勉強を思い出しました。私が好きな食べ物はおにぎりです。自分の手でおにぎりをばくばくと食べるのがとても好きです。でも、日本の米は生産も消費も減っていること、田んぼも減少していること、それは食事の形が和食から洋食中心に変化していることが理由の一つだということを社会の時間に学習しました。だから、このことを勉強したときは、とても残念でした。残念だったからこそ、納豆巻きを百本食べたいという人がいて、その人がアメリカ人だということにとでもおどろいたので。

悠子さんと生活しているうちに、あることに気付きました。それは、ご飯が本当に好きだということです。給食の時間になると、そのことがよくわかりました。悠子さんのご飯の茶わんを見ると、昔話に出てきそうなくらい山盛りのご飯が盛られています。私は、

「こんなに悠子さんは食べられるのかな。」

と心配しました。でも悠子さんは、

「おかわりを下さい。」

と言ってもっとご飯を食べます。私はご飯に何かのせたり、かけたりして食べますが、悠子さんは、ご飯だけをもりもり食べます。そのことが最初はとても不思議でした。

悠子さんの体験入学がまもなく終わるといころ、悠子さんが大好きなご飯を使っておにぎりを作るようになりました。具は自分の好きな具をおうちから持ってくるようになっていました。私は悠子さんがおにぎりに何を入れるか気になっていました。先生が、

「悠子ちゃん、具は何にするの。」

と聞きました。すると悠子さんは、

「具は入れません。塩むすびにします。」

と言いました。そこで私はわかりました。悠子さんは、日本のご飯の甘さや食感が好きなのです。ご飯そのものが好きなのです。悠子さんは、

「日本のご飯は、もちもちしているから好きです。アメリカのご飯は、おはしにくっついてきません。でも、日本のご飯はおはしにくっついてきます。それくらいもちもちしていて大好きです。」

と言いました。

悠子さんの言葉を聞いて、私もご飯だけを一口よくかんで食べてみました。
私は

「ご飯ってこんなに甘いんだ。」

と思わず言いました。そして日本のお米は、外国の人が認めるくらい、とてもおいしいということが悠子さんと生活する中でわかりました。私はおにぎりを食べ終わって言いました。

「やっぱりご飯が大好き。」